

# TOTO

## 排水弁(交換要領)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**1** タンク内の水を流す

①止水栓を閉める  
(マイナスドライバーで  
右に回す)

②タンク内の  
水を流す

**2** タンクふた(手洗い鉢)、  
カバー、ボールタップを外す

タンクふた(手洗い鉢)  
カバー  
ボールタップカバー

垂直に  
持ち上  
げる

**3** 排水弁・レバーを取り外す

①フックの  
両端を  
つまむ

②垂直に持ち上げる

①ピンを外す

②レバーを外す  
スピンドル

レバー

排水弁(小側)

排水弁(大側)

排水弁

ピン

**4** 前記**3**と逆の手順で、排水弁を再度取り付ける  
※このとき、フックは「カチッ」と音がするまでしっかりと取り付けてください。

**5** レバーを選択する  
レバーは2種類同梱されて  
います。

|                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| <p>手動用洗浄レバー</p> <p>(白色)</p> | <p>自動洗浄レバー</p> <p>(灰色)</p> |
|-----------------------------|----------------------------|

※対象のレバーを選び、必ず交換してください。  
現場にアプリコットCシリーズ(TCF40\*\*系)  
の便器洗浄ユニットが設置されている場合、  
現場に設置されている洗浄レバーをご使用くだ  
さい。

**6** レバーハンドルの取り付け

①レバーハンドルユニットを陶器タンクのハンドル取付穴に、スピンドルガイド先端の“上”マークを上にして差し込む。

②スペーサーの“上”マークを上にして、スピンドルガイドの“上”マークにあわせて奥まではめ込む。  
次に、スピンドルガイドにナットをねじ込み、手締めで固定する。

ナット  
スペーサー

“上”マーク  
“上”マーク  
“上”マークが上になるように!

“上”マーク  
“上”マークが上になるように!

ハンドル取付穴  
スピンドル

レバーハンドル  
ユニット

工具使用禁止

③レバーにスピンドルを差し込む。

④レバー角穴にピンを「カチッ」と音がするまで差し込み、固定する。  
※レバーとスピンドルが確実に固定されていることを確認してください。

レバー  
レバー角穴  
スピンドル  
ピン  
レバー角穴  
カチッ

フィルターユニット

指一本分(10~15mm)

ボールタップに干渉しない  
位置にピンで固定する

**7** 玉鎖の取り付け

玉を横にして丸いへこみ部に入れ、  
スリットの奥まで確実に差し込む。

玉を横にせず丸いへこみ部に入れると、奥まで  
入らず、玉鎖が作動中に外れることがあります。

排水弁が上がらない程度に玉鎖を  
張った状態でスリットに差し込む。  
(レバー部スリットに差し込むこと  
で適度(約1~2玉)にたるみます)

排水弁(小側)

排水弁(大側)

排水弁(小)

排水弁(大)

1~2玉

注意事項

【玉鎖の長さ調整】  
・玉鎖がたるみすぎたり、張りすぎたりしていないこと

たるみ過ぎ

張り過ぎ

ハンドルを回しても  
弁が開かず洗浄しない

弁が開いていて  
止水しない

※排水弁形状が異なる場合があります。

**8** 動作確認

排水弁・レバーハンドルの動作を確認する。

①レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。

②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。

③レバーハンドルを「大」側に回したときは上下両方の弁が開くこと。

④レバーハンドルを「小」側に回したときは上側の弁のみが開くこと。

※正常に作動しない場合には、玉鎖のたるみが1~2玉ぐらいになるように調節してください。

**9** ボールタップカバー、カバー、タンクふたを  
元に戻す

**10** ①止水栓を開く  
②2~3度操作して吐水、貯水、止水が正常で水漏れ  
などの異常がないことを確認する